

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2020-81090(P2020-81090A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-216694(P2018-216694)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 T

A 6 1 B 17/34

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月28日(2021.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

先端側を患者の体腔内に挿入して用いるトロッカーであって、  
中心管路を有する内側管と、

前記内側管の外周を覆うように配置され、前端が前記内側管の前端より後方に位置する  
外側管と、

前記内側管と前記外側管との間に形成され、前記外側管の前端位置に吐出口を有する流  
路と、

前記外側管の前端より前方であって、前記吐出口に対向する位置に設けられる流れ制御  
部材と、

を含み、

前記流れ制御部材は、前記吐出口に対向する部分に、凹面を有するとともに、半径方向  
外側に向かうに従い後方に位置する斜面を有する、

トロッカー。

【請求項2】

請求項1に記載のトロッカーであって、

前記外側管に対する前記流れ制御部材の管軸方向位置を調整可能として、前記吐出口と  
前記流れ制御部材との距離を調整可能とする、

トロッカー。

【請求項3】

請求項1または2に記載のトロッカーであって、

前記流れ制御部材の外径は、前記吐出口の外径より大きい、

トロッカー。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1つに記載のトロッカーであって、

前記流路は環状の流路であり、前記吐出口は環状の吐出口である、

トロッカー。

【請求項5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載のトロッカーであって、  
前記流れ制御部材は、内側管の外周全体から半径方向外側であって斜め後方に向けて広  
がるコーン形状を有することで上面に凹面が形成される、  
トロッカー。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のトロッカーであって、  
前記内側管の外周と前記外側管の内周の間に両者の間隔を維持するスペーサを設ける、  
トロッカー。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のトロッカーであって、  
前記スペーサは、前記内側管の外周方向に等間隔で複数設けられる、  
トロッカー。